

香取郡 東庄町 今郡カチ内遺跡

利根川の右岸台地上にある今郡カチ内遺跡では、これまでも発掘調査が何度か行われ、旧石器時代から平安時代にかけての遺構や遺物が発見されています。

平成 9・12・21 年度の調査では、二重の溝をもつ円墳 3 基がまとまって見つかりました。遺物は、表面の光沢の違いで淡い文様を描く「暗文(あんもん)」という技法で装飾された高盤(こうばん)や、金銅製の耳飾りが見つっています。

今年度の調査では、奈良・平安時代の竪穴住居跡が多数見つかりました。また、ベルトの先端に取り付ける鉈尾(だび)という金具も出土しています。これは馬具に使われたものと思われます。

これまでの発掘成果とあわせると、古墳時代後期から奈良・平安時代にかけて、この地域の中心的な存在ともいえる大きな集落であったことがわかってきました。



二重周溝の円墳



鉈尾(青銅製)



耳飾り(出土直後)



(保存処置後)



高盤



暗文(螺旋文様)

<12月2日(木) 現地説明会>

調査成果だけではなく、発掘調査作業も公開しました。
また、近隣の小学生は体験発掘を行いました。



体験発掘の様子